

祝 成人の日

1月12日(日)岡田地区の新成人33名(男性14名、女性19名)が公民館に集い、来賓5名の同席のもと記念撮影を行いました。また、新成人の抱く「夢」について取材したところ、19名の方からお答えをいただきました。ご協力ありがとうございました。(取材 中本・浅輪)

館報 おかた

令和2年1月1日現在
 世帯数：3,131 戸
 男：3,534 人
 女：3,659 人
 計：7,193 人

あなたのかなえたい **夢** は何ですか？

- ＊ 料理人として、少しでも多くの方に自分の名前を覚えてもらうこと
- ＊ 夢叶いました。(就職すること)
- ＊ 可愛い子供を産みたい
- ＊ 素敵なお嫁さんになる!!
- ＊ 長生きしたい
- ＊ 看護師になる
- ＊ 海外旅行に行く
- ＊ 社員になる
- ＊ 公務員になること



- ＊ お金持ちになる
- ＊ アジア圏一周!
- ＊ 世界一周!
- ＊ 幸せになる
- ＊ 日本一の理学療法士
- ＊ 海外に住みたい
- ＊ 幸せな家庭をもつこと
- ＊ 平和な世界をつくりたい
- ＊ りっぱな診療放射線技師になる
- ＊ オーロラを見る!



新成人の生まれた20年前 1999年4月～2000年3月の主な出来事

- 厚底靴流行 ● トキ誕生
- 第一勧業銀行・富士銀行・日本興業銀行の3行合併
- 世界人口60億人突破
- 2000年(Y2K)問題
「コンピュータ誤作動問題」と呼ばれたもの



1999年の 流行語大賞

- フツホン
- リベンジ
- 雑草魂



皆さん
覚えていますか





毎朝、登校する子どもたちに「おはよう」と声を掛け見送ります。

この日はゴミ収集日でした。ゴミ袋を持った人たちが慌ただしく、公民館のゴミステーションへと運び入れ、お互い「おはようございます」「ご苦労様です」とあいさつを交わし、一日が始まります。

東区町会は、ゴミの散らかしがほとんどない「まち」だと自負しています。数年前、ゴミの分別収集に熱心な衛生部長がおられ、町会の美化運動にも積極的にでした。可燃ゴミで困るのは、カラスや野生動物などによる食いつぶしです。衛生部長から対策を講じてほしいと町会に依頼があり、大型のゴミステーションを設置することにしました。

雨が降っても困らないように屋根付で、沢山収納できる鉄骨・金網のゴミステーションです。とても使いやすく資源



おはようございます!!

資料を用意し、気持ち良く受け入れ、歓迎できるよう努力しているところですよ。
(元東区町会長 村山忠勇)

物収集日にも大活躍です。設置後は、当番制で管理し、衛生部長は毎日のように立ち番をしながら、ボランティアの人と一緒に、ゴミの分別指導に当たっていました。

ゴミの無いきれいな町会は、住み良い「まち」だといわれています。当時の衛生部長さんの思いが、今でも引き継がれているのは、嬉しいですね。

また、町会で自慢できることは、年々戸数が増え続けていることです。その理由は分かりませんが、日常必要な出張所、保育園、小・中学校、郵便局、農協、スーパー、病院などが近いので、生活環境に恵まれているからでしょうか。

転入者は、若夫婦と子ども連れの家族が多く、将来が楽しみです。また、転入しても知らない町での生活は不安です。それには、あいさつからはじめ、隣同士で声を掛け合い、不安を取り除いてやるのが大切です。早く町会に慣れるよう、常会や岡田地区全体の分かり易い案内

春先から神沢池の耐震工事が行われました。満水だった池が空になり、大きな機械が何台も入って工事が進められました。年の瀬も迫った先日、無事工事が完了したよう

現在の神沢池では真冬にうっすらと氷が張る程度ですが、私

の子どもの小さい頃(昭和四十年代)には毎年厚い氷が張っていました。ある年にはスケート大会が行われた程度です。大人数が乗っても大丈夫な完全凍結は、この時だけです。年々池が凍らなくなってきたのはやはり温暖化

生活雑記
神沢池とその周辺
神沢 瀧澤 利宇

の影響なのでしょう。池の周りでは、ウォーキングや犬の散歩をする人が増えましたが、近くに幾つもの石碑や句碑があるのに気づく人は少ないと思います。そこは以前、火の

は岡田神社に移されている蚕糸神社(「お蚕」の神様)も昔はそこにありました。道路拡張のため僅かな敷地となりましたが、町会では毎年春先に神事を行っています。

沢村から神沢へ入る道の両側は、畑ばかりで寂しかったものです。今では人

見櫓があった場所で、旧消防詰所の裏手にひっそりと石碑があります。「安政四丁三月神沢村建立」と刻まれた石碑は、江戸時代末期に多くの家が焼失する大火事があった、その後無火災を祈って建てられたと、明治生まれの舅から聞きました。今

家が建ち、何でもすぐ間に合う時代になりました。移り変わりはいつの時代にもありますが、健康に気を付けて次の世代に語り継いでいきたいと考えています。



御神木の伐採から始まる三九郎

12月8日(日) 芥子坊主山では、1月に地区内15カ所で行われる三九郎で使用される御神木(柱)の切り出しが行われました。植林から10年ほど経過したアカマツを、岡田財産区の皆さん8名がチェーンソーで伐採します。今年65本を切り

昔は、三九郎のあと、御神木を小さく切って各家庭に配り、それを薪にして釜で味噌を炊くのが習わしだったそうです(今でも小さく切った御神木の配布を行っている地域もあるようです)。

事ですが、松くい虫による枯れが広がる中、継続には地域の皆さんのご理解とご協力が不可欠です。「木が採れる間は続けたい。」という声から参加者からも聞かれました。(取材 中本・酒井)

出し、育成会の皆さんが次々に山から運び出し、トラックに積み込んでいました。

財産区の皆さんのご苦労があつての岡田に続く伝統行



力を合わせて御神木運び



燃え盛る三九郎(松岡町会)